

製造業安全対策官民協議会

神戸宣言に対する日本アルミニウム協会の取組み

第5回アドバイザリーボード
2022年9月16日
(一社)日本アルミニウム協会

目 次

1. 神戸宣言に対するアルミニウム業界の取組み
2. 令和3年度 安全委員会 活動計画・実績
3. 令和4年度 同 活動計画・進捗
4. 労働災害統計と安全成績
5. 労働災害の発生状況と分析
6. 労働災害報告・事例集・検索システム
7. 第102回 管理監督者体験交流会
8. 第1回 危険体感安全教育情報交換会
9. 安全表彰
10. 新型コロナウイルス対策の取組み状況

1. 神戸宣言に対するアルミニウム業界の取り組み

製造業安全対策官民協議会・神戸宣言

製造業における安全対策の更なる強化を図ることを目的に本年3月に設立された「製造業安全対策官民協議会」は、産業安全を取り巻く環境の変化や対応の方向性を踏まえ、次の5つの事項について具体的な検討を行ってきた。

- 一 異業種トップ座談会の実現
- 二 安全管理体制強化のため労働安全衛生マネジメントシステムのJIS策定への関与
- 三 安全投資促進のため、リスクアセスメントの標準手法の開発、及び設備点検・補修・更新基準の共通化
- 四 安全対策の経済効果と、社会的評価
- 五 産業界における安全教育の体系的プログラムの策定

また、本年9月に開催された「製造業安全対策に関するトップ会談」では、「一人ひとりカケガエノナイひと」という人間尊重の基本理念のもと、以下の4つの経営理念を含む「声明文」を公表した。

- 一、経営層がリーダーシップを発揮しつつ、安全担当や製造担当と接触し、かつ、常に現場の声を反映できるような体制の強化
- 二、設備の老朽化等の厳しい現状がある一方、技術革新を生かした新たな取組も進んでいることを踏まえた、安全への投資の促進
- 三、ベテラン職員の減少、業務アウトソーシングの増加などの環境変化を踏まえた、階層別、協力会社を含めた安全人材の育成や安全教育の拡充
- 四、重点的に取り組むべき課題を抽出し、その原因・対策などを検討し、検討結果を業界内外に共有

協議会は、トップ会談で公表された4つの経営理念について合意する。協議会の構成員はそれを会員企業に周知し、経営理念が達成され、更なる安全対策の強化が図られる取組を推進するとともに、その結果を集約する。

トップ会談に参加した3団体（日本鉄鋼連盟、日本化学工業協会、日本製紙連合会）及び賛同する団体は、「4つの経営理念」に沿って取組の計画を策定し、翌年の協議会及び次回全国産業安全衛生大会において取組の進捗状況を報告する。

また、所属団体が協議会の構成員でない場合でも、これらの趣旨に賛同した企業が、自ら計画を公表し実施状況を協議会に報告することも可能とする。

協議会の構成員は、製造業における更なる安全対策の強化が図られるよう、これらの取り組みを全者一丸となって推進することをここに誓う。

4つの経営理念

一、経営のリーダーシップと体制強化

二、安全投資の促進

三、安全人材の育成と安全教育の拡充

会員各社にて安全活動計画に織込

四、重点課題への取り組みと成果共有

当協会安全委員会の活動を通じて
その成果と各社の取り組み成果を
共有

2. 令和3年度 安全委員会 活動計画・実績

計画○ 実績●

項 目	内 容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	備 考	神戸宣言	
製造業安全対策官民協議会	協議会への参加	← (協議会・WG・SWG (・AB)) →														1～4
	神戸宣言の取組	← (会員企業・委員会) →														
1 安全委員会 (・本部委員会)	活動計画立案/実施	○●			○●			○●			○●				3・4	
・関東地区委員会	・労働災害統計 (月次)	○●			○●			○●			○●					
・関西地区委員会	・労働災害事例報告 他			○●			○●		○●				○●			
・北陸中部地区委員会	※ 全てリモート開催			○●		○●			○●		○●					
2 災害事例集 ・A4版冊子	年2回発行	○●						○●						※冊子には統計も掲載	3・4	
	・ 検索DB (協会HP)		○●													
3 管理監督者体験交流会	体験発表とグループ討議	○●												第101回：関西地区委主催 ⇒ リモート開催 (初)	3・4	
	外部有識者の講演															
4 危険体感安全教育情報交換会	動画による事例発表										○●			初開催 (リモート) テーマ「はさまれ巻き込まれ」	3・4	
	質疑応答															

2. 令和3年度 安全委員会 活動計画・実績

計画○ 実績●

項 目	内 容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	備 考	神戸宣言
5 工場見学会（委員会社）	地区委員会主催	○ 延期												（北陸中部委主催） コロナ禍考慮	2・3
6 異業種交流会	地区委員会主催					○ 未定								（関東委主催） コロナ禍考慮	2・3
7 安全優良事業場表彰	当協会：優良賞・特別優良賞										○●		○●	選考 ハイブリッド表彰式（初）	1
8 全国産業安全衛生大会	事例発表				○●									発表者：LIXIL	3
9 緑十字賞（中災防）	安全委員会委員を推薦					○●							○●	選考・推薦 表彰式：全国産業安全衛生大会	3
10 厚生労働大臣顕彰	安全優良職長の推薦				○●				○●					選考・推薦 表彰式：厚生労働省	3

3. 令和4年度 安全委員会 活動計画・進捗

計画○ 実績●

項 目	内 容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	備 考	神戸宣言
製造業安全対策官民協議会	協議会への参加	← (協議会・WG・SWG (・AB)) →													1～4
	神戸宣言の取組	← (会員企業・委員会) →													
1 安全委員会 (・本部委員会)	活動計画立案/実施	○●			○●			○			○				3・4
・関東地区委員会	・労働災害統計 (月次)		○●			○		○				○			
・関西地区委員会	・労働災害事例報告 他	○●			○●			○			○				
・北陸中部地区委員会	※ 全てリモート開催				○●			○			○		○		
2 災害事例集 ・A4版冊子	年2回発行	○●						○						※冊子には統計も掲載	3・4
	・検索DB (協会HP)		○●												
3 管理監督者体験交流会	体験発表とグループ討議	○●												第102回：関東地区委主催 ⇒ リモート開催 (2回目)	3・4
	外部有識者の講演														
4 危険体感安全教育情報交換会	動画による事例発表										○			第2回開催 (リモート) テーマ「はさまれ巻き込まれ」※	3・4
	質疑応答														

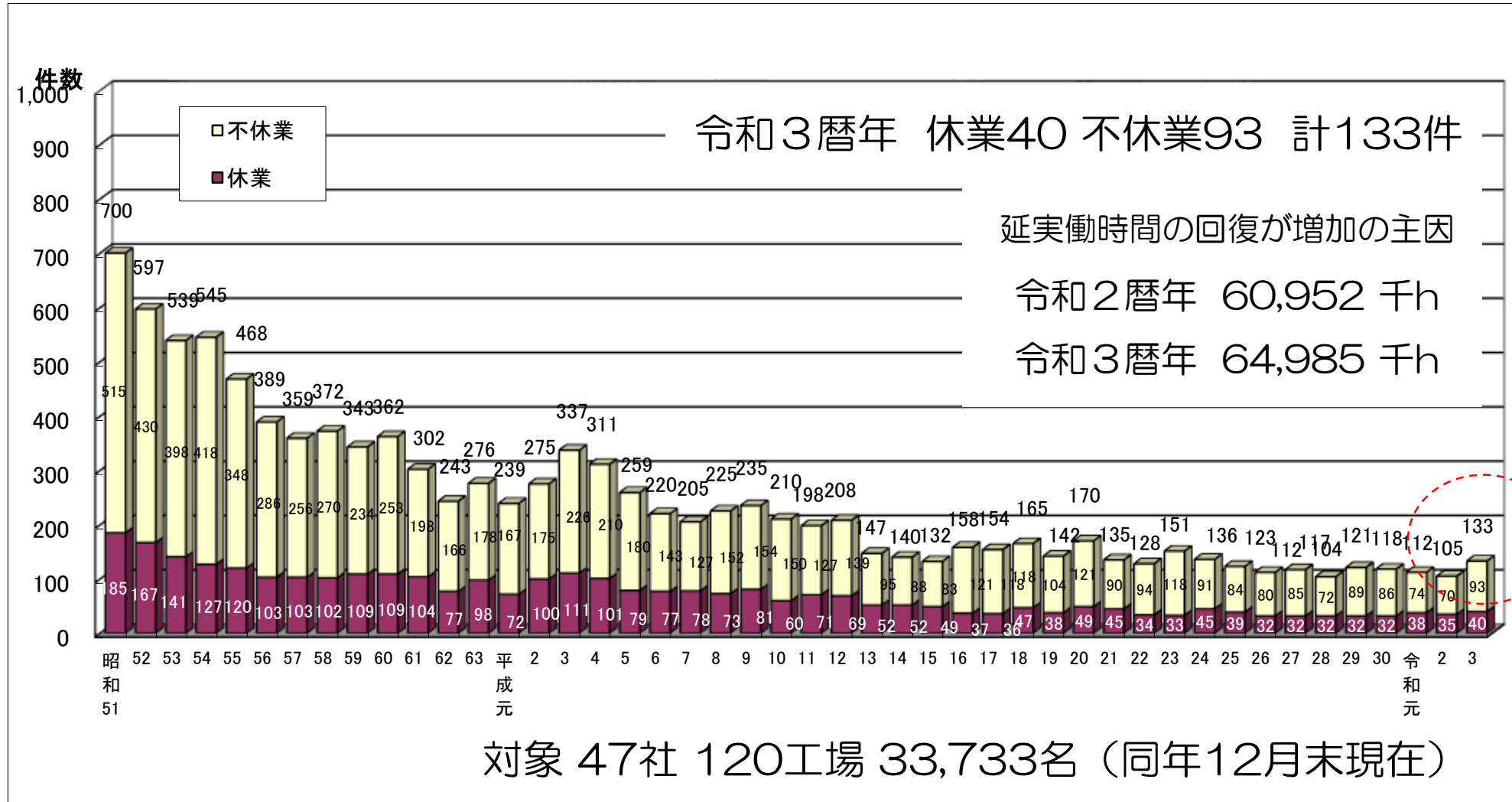
3. 令和4年度 安全委員会 活動計画・進捗

計画○ 実績●

項 目	内 容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	備 考	神戸宣言
5 工場見学会（委員会社）	地区委員会主催	○ 延期												（北陸中部委主催：輪番持越） コロナ禍考慮	2・3
6 異業種交流会	地区委員会主催						○ 未定							（関東委主催：輪番持越） コロナ禍考慮	2・3
7 安全優良事業場表彰	当協会：優良賞・特別優良賞										○		○	選考 表彰式（形式未定）	1
8 全国産業安全衛生大会	事例発表					○								発表者：三協立山	3
9 緑十字賞（中災防）	安全委員会委員を推薦					○							○	選考・推薦 表彰式：全国産業安全衛生大会	3
10 厚生労働大臣顕彰	安全優良職長の推薦					○			○					選考・推薦 表彰式：厚生労働省	3

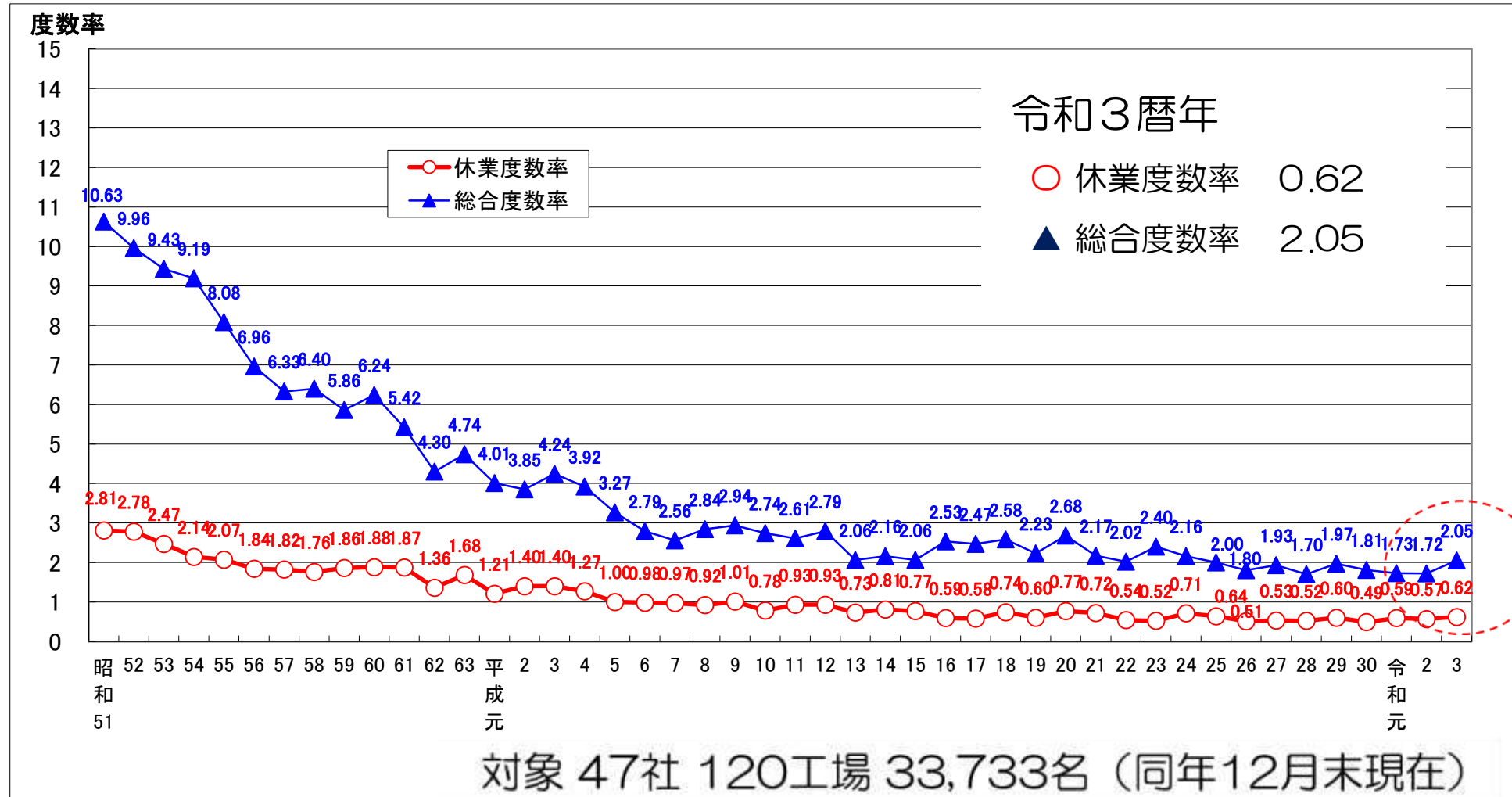
4. 労働災害統計と安全成績

(1) 発生件数の推移



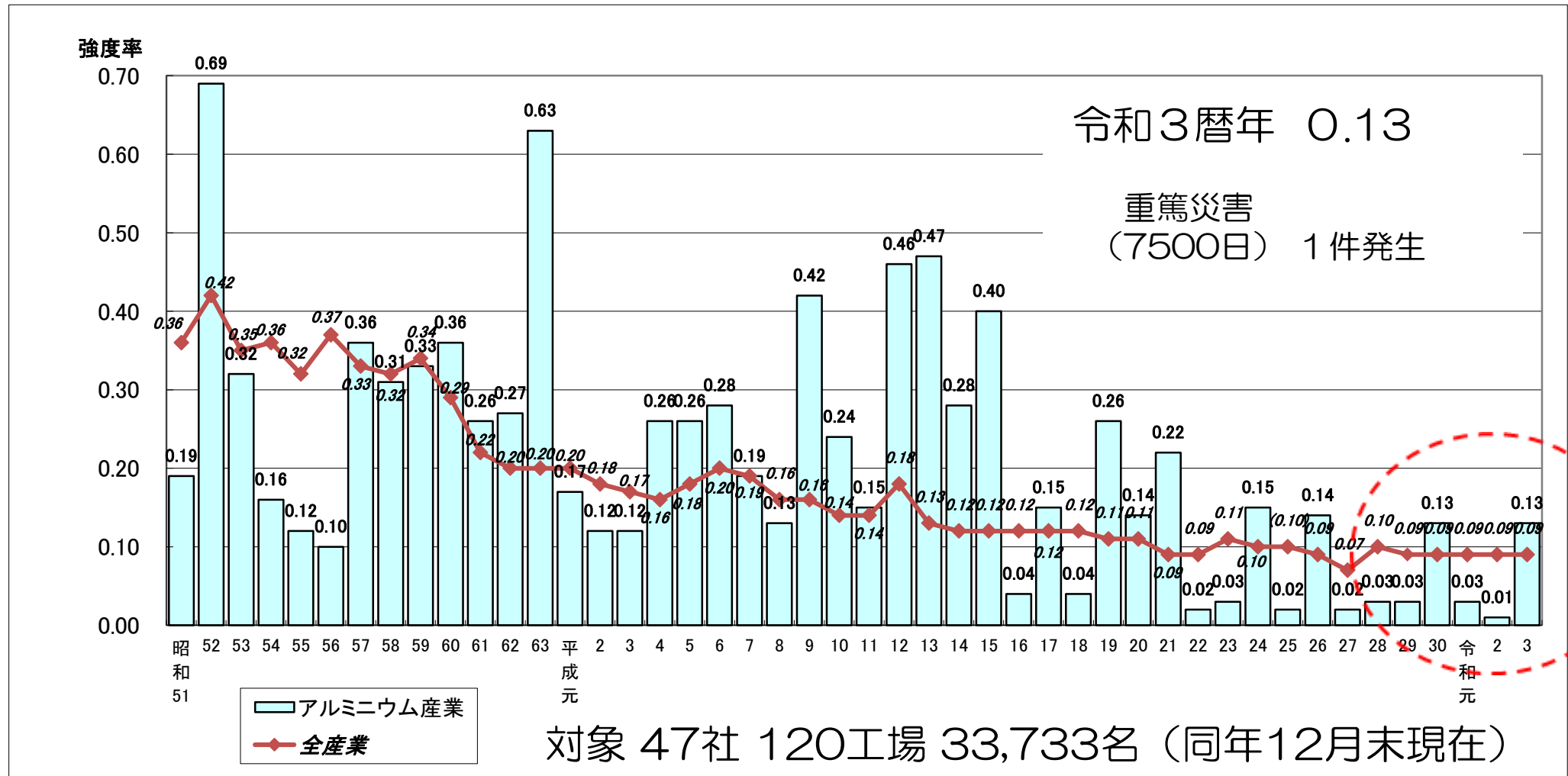
4. 労働災害統計と安全成績

(2) 度数率の推移

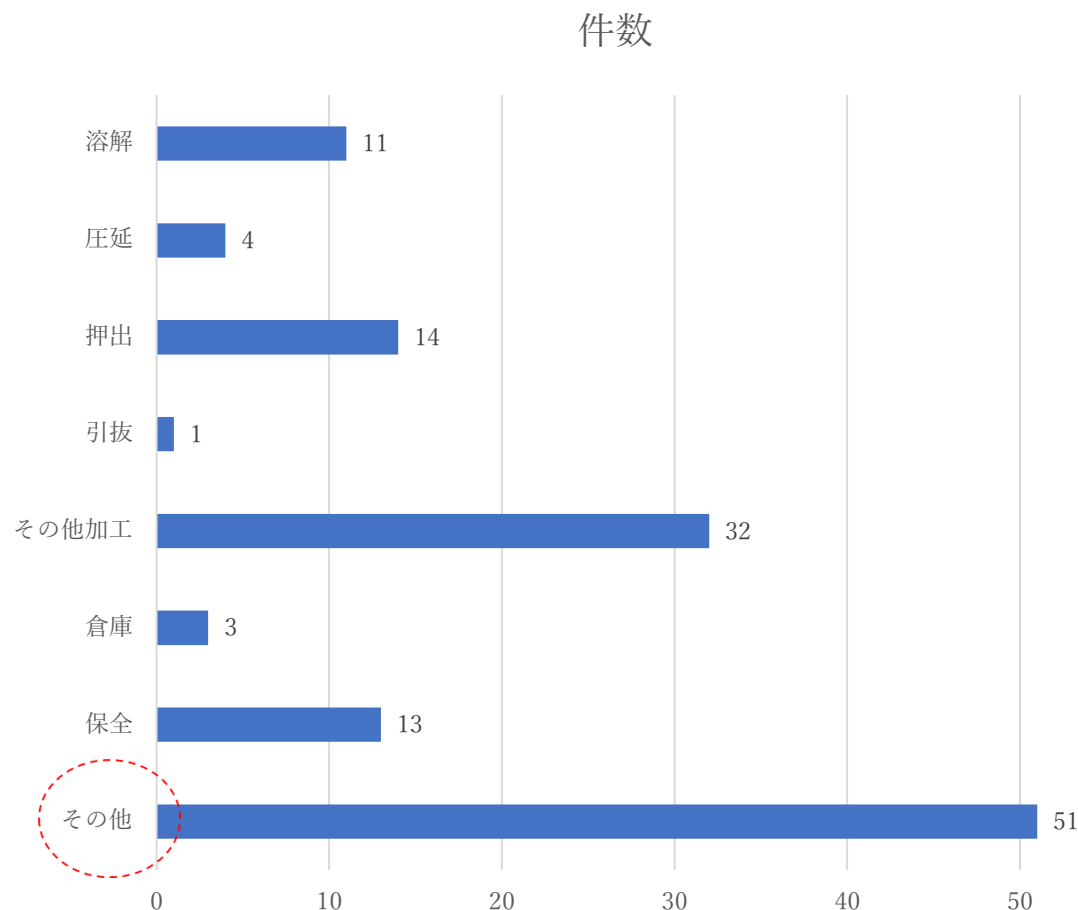


4. 労働災害統計と安全成績

(3) 強度率の推移および全産業比較



5. 労働災害の発生状況と分析



部署別では 押出工程（11％） 溶解工程（9％） 保全（10％） がそれぞれ1割程度で その他加工およびその他が 64％を占める。（N=129）

＜内訳：その他加工＞

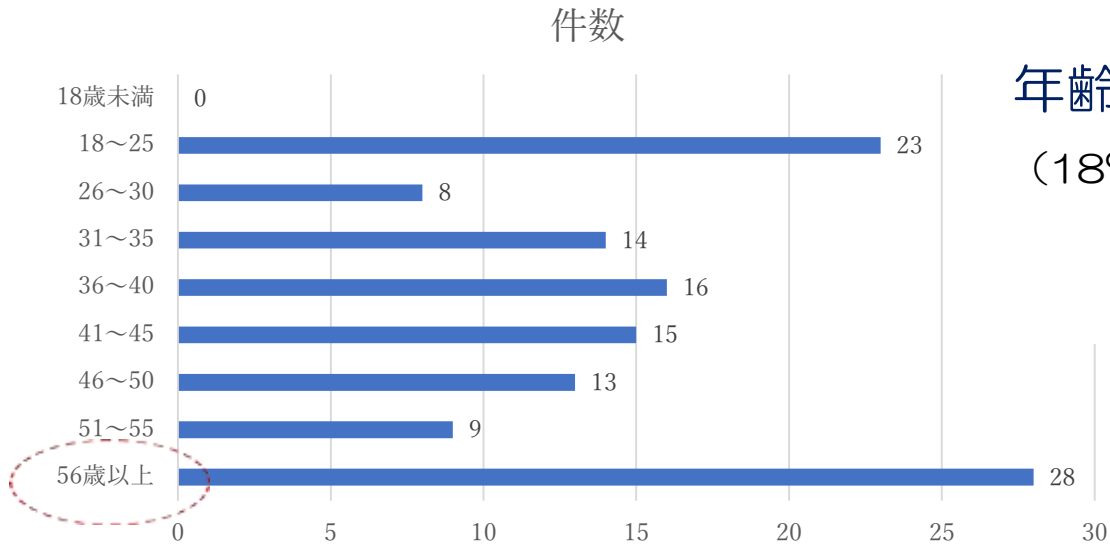
シャー・スリッター(7)、セパレーター、ラミネーター、モヘアカッター、金型プレス、超音波カッター、ガラス加工(2)、搬送コンベア昇降機、マシニング工程、製缶作業場、スラブ切断ライン、塗装ライン、加工・組立ライン(7)、ラッキング作業場、アルマイトライン

＜内訳：その他＞

排水処理場(2)、産業廃棄物置場、取付工事現場(民家)、**道路(2)、通路(4)、階段(4)、駐車場(2)**、機材置場、手洗場、洗浄機、検品場、自動搬送機、倉庫、在庫棚、薬品再生装置

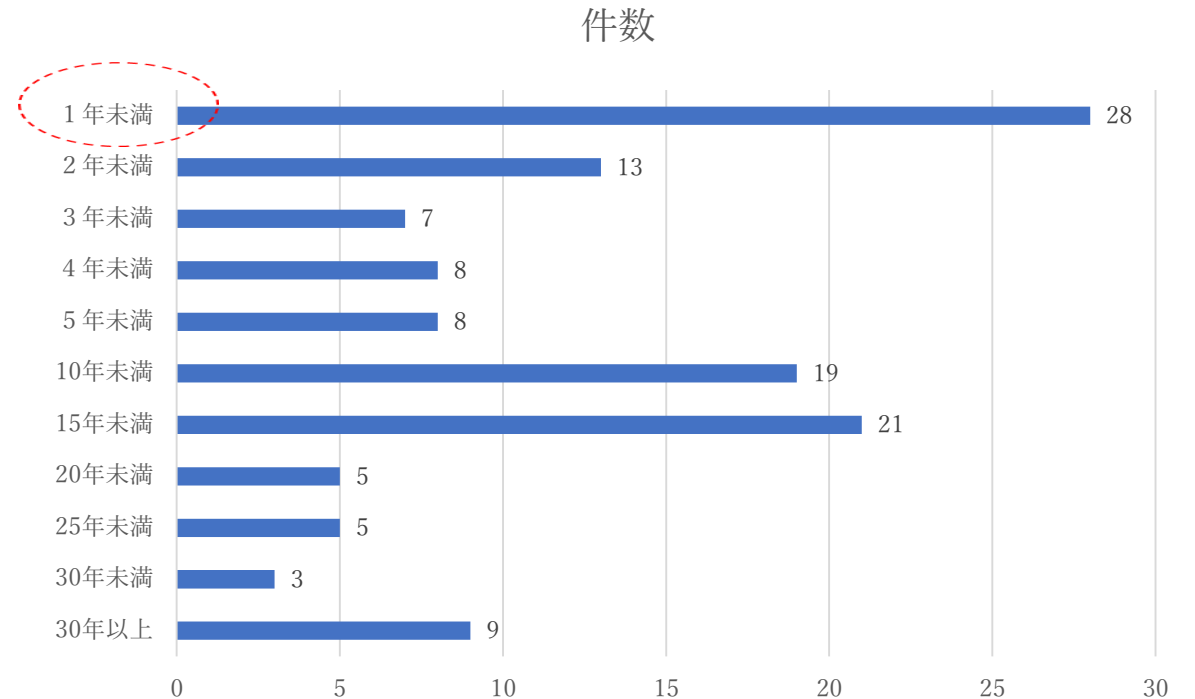
（ ）内は件数、無記載は1件。

5. 労働災害の発生状況と分析



年齢別では56歳以上が多く（22%）、次に18～25歳（18%）が多いが、全ての年代で例外なく発生している。
(N=126)

経験年数別では1年未満が22%を占め、2年未満まで含めると33%を占める。また、5年以上15年未満も32%であり多い。
(N=126)



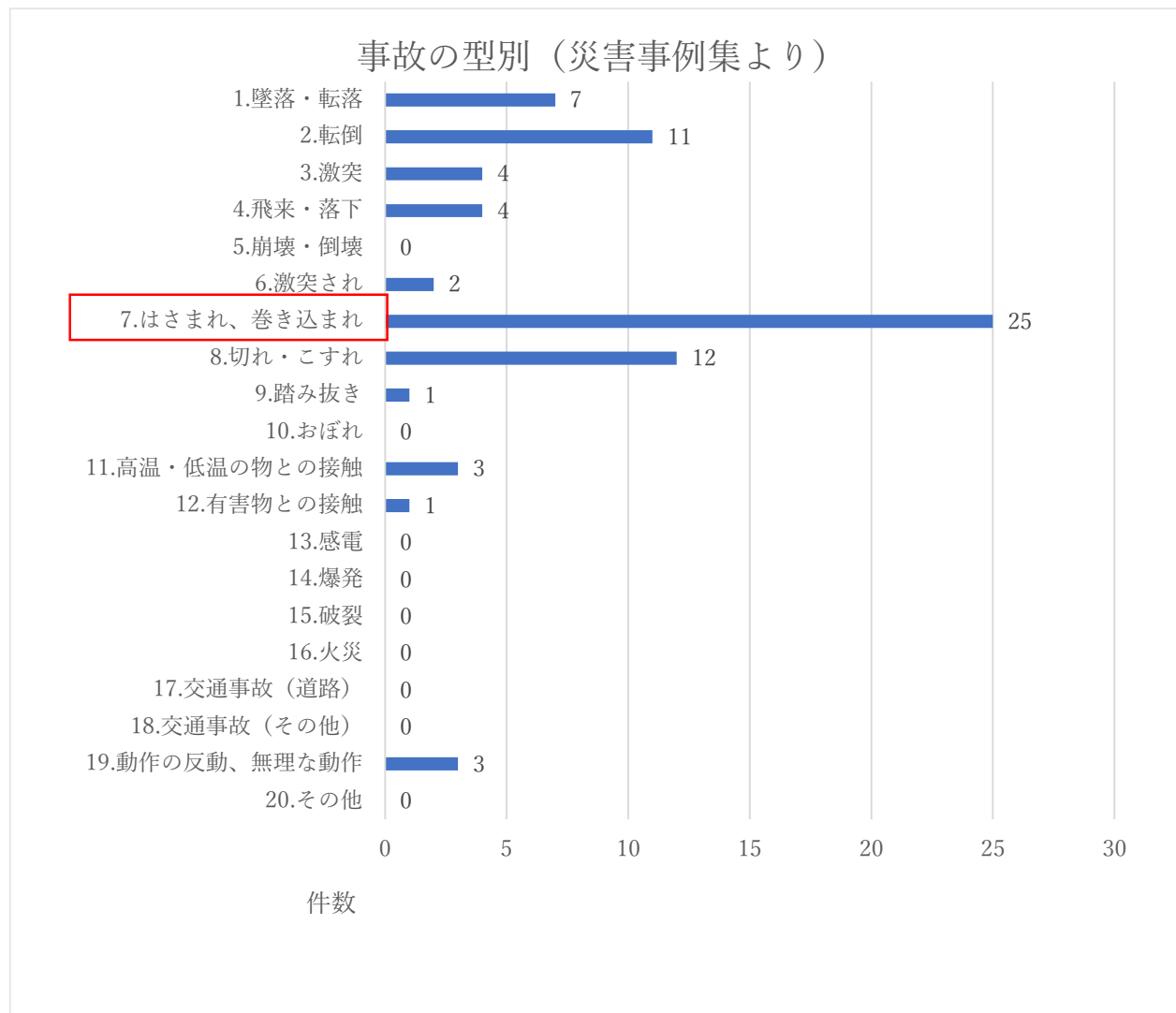
5. 労働災害の発生状況と分析

経験年数別/年齢別

経験年数別/年齢別									n≧10	n≧5	n=3~4	計
年齢/経験年	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	30年以上	
18歳未満												0
18~25	11	5	3	2	1	1						23
26~30	2	1		2	1	2						8
31~35	2		2			4	5	1				14
36~40	1	3		1	1	5	4	1				16
41~45	4		1			3	3		3	1		15
46~50	3	1			2	1	3		1	2		13
51~55	2	1			1	1	2	1			1	9
56歳以上	3	2	1	3	2	2	4	2	1		8	28
計	28	13	7	8	8	19	21	5	5	3	9	

(N=126)

5. 労働災害の発生状況と分析



＜参考＞ 事故の型別

労働災害統計の内、災害報告書により報告された事例の統計であり母数が少ないが（N=73）、

「はさまれ、巻き込まれ」が 34% を占め従来通り圧倒的に多く、以下「切れ・こすれ」16%「転倒」15%「墜落・転落」10%と続く。

「切れ・こすれ」起因

型材エッジ(3)、ガラス、プレス金型、スリッター、モヘア切断機、超音波カッター機、ガラス切断機、不織布切断機、グラインダー、カッターナイフ。

「転倒」した場所

道路(2)、通路(2)、階段(2)、駐車場(2)、押出ライン、自動搬送レール、マシニング機踏み台。

（ ）内は件数、無記載は1件。

6. 労働災害報告・事例集・検索システム

11-4 その他		災害区分		休業	不休業
エアーコンプレッサーモーター据付作業で指をはさまれる					
発生場所	エアーコンプレッサー室			事故の型	はさまれ、巻き込まれ
発生年月	2020年11月	年齢	24才	負傷部位	左手第2指挫創
		経験	2年		
【状況】 朝から3名でエアーコンプレッサーモーターO/H後の組立時にモーターとコンプレッサーを繋ぐカップリングを、リーマーボルトで固定させる作業を開始した。被災者がボルト穴を確認すると回転方向に約1mmのズレがあり、モーター側のシャフトをチェーンレンチを使って1mm移動させる事とした。被災者は右手でチェーンレンチを上側に引き左手はズレを確認する為ボルト穴に左手人差指を入れて確認し、右手のレンチをほんの少しだけ動かすつもりで回したところ本人が思っていたよりも多く回転し、指をはさんだ。					
【災害発生状況】			【対策後】		
【略図】 					
【原因】 <人> 1. 指を回転部に安易に入ってしまった。 <設備> 1. カップリングのリーマーボルト穴の位置合わせ難かった。 2. 一方向しか回せないチェーンレンチを使用した。 <管理> 1. 作業標準書が無く、オーバーホールは10年周期の為、作業リーダーも経験が薄く、作業手順を思い出しながらの作業であった。			【対策】 <人> 1. 大小含めてカップリングの穴には指を入れない事の教育を繰返し教育として計画を立て実施する。 <設備> 1. リーマーボルト穴に寸法を合わせた砲金製ボール芯を使用する。 2. この作業でのチェーンレンチの使用禁止し、カップリングを正逆転できる治具を作製した。 <管理> 1. 作業標準書を作成し教育を実施した。		

「労働災害報告書」

委員会所属事業所より所定書式にて発生随時協会事務局あてに送付され、安全委員会で発生事業所より詳細が説明された後、出席の各委員との質疑応答・再発防止の助言・類例の注意喚起等が行われる情報交換とレベルアップの仕組み。

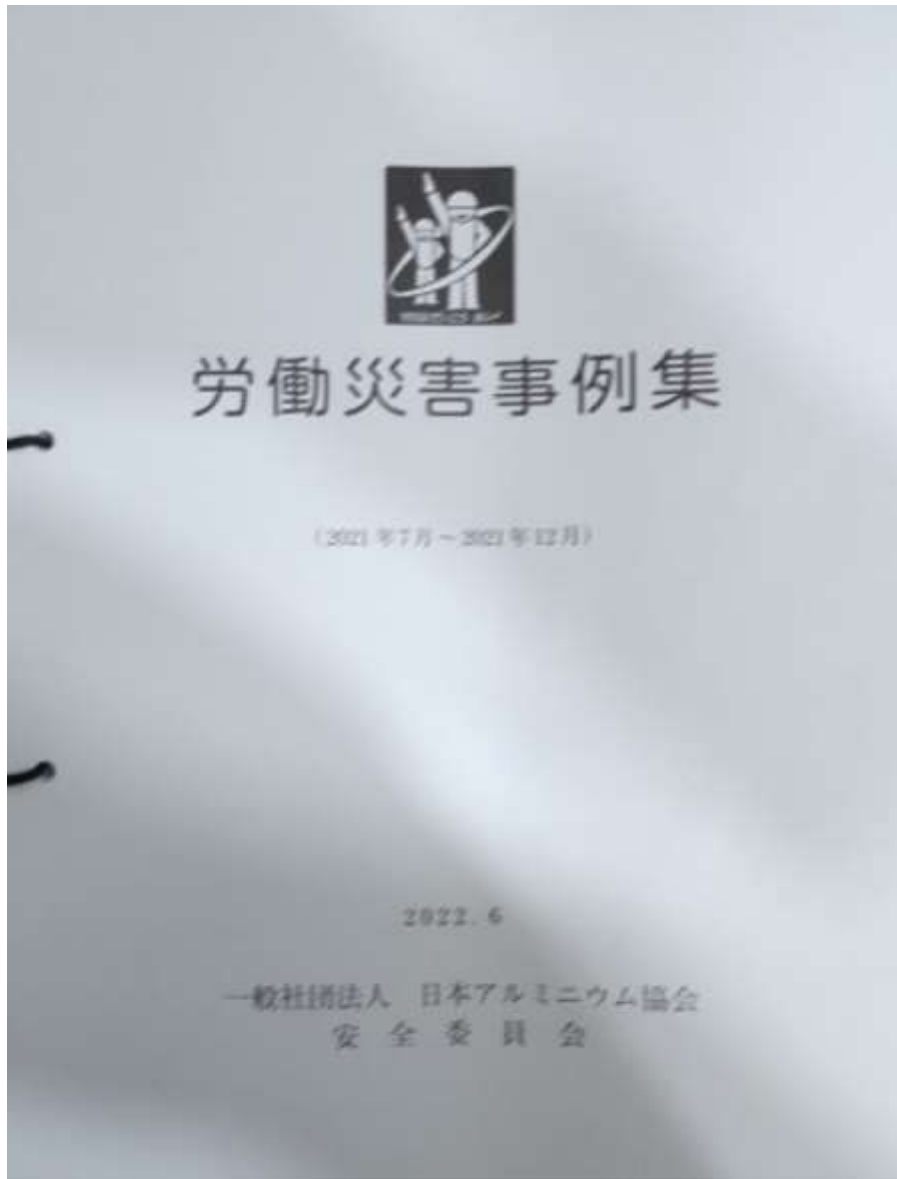
「同 事例集（A4版）」

上記報告書を半年単位でまとめ、当業界（協会々員事業所＋α）の統計資料（半期・通期）を加えて製本・頒布。

「同 検索システム（会員HPの検索DB）」

1977年以降の労働災害報告書（約2,800件）を登録しており、アルミニウム業界内の他社事例を参照して労働災害の防止に役立てるシステム。

6. 労働災害報告・事例集・検索システム



会員専用ページ 労働災害事例集 検索

A.～H.で選択または入力された項目すべてに該当する事例を検索します。
A～Hの条件で指定の無い場合は、すべてを対象として検索します。 [→検索方法の説明](#)

A.機械別分類：(複数チェック可能) 小分類を選択して絞り込みます。	B.事故の型：(複数チェック可能)	C.負傷部位：(複数チェック可能)
☐ 1. 溶解・鋳造 すべて	☐ 1. 墜落・転落	☐ 11. 高温・低温の物との接触
☐ 2. 圧延 すべて	☐ 2. 転倒	☐ 12. 有害物等との接触
☐ 3. 押出 すべて	☐ 3. 激突	☐ 13. 感電
☐ 4. 箔加工 すべて	☐ 4. 飛来・落下	☐ 14. 爆発
☐ 5. プレス・表面処理 すべて	☐ 5. 崩壊・倒壊	☐ 15. 破裂
☐ 6. サッシ加工・一般機械 すべて	☐ 6. 激突され	☐ 16. 火災
☐ 7. 荷役・運搬 すべて	☐ 7. はさまれ・巻き込まれ	☐ 17. 交通事故(道路)
☐ 8. 爆発・火災 すべて	☐ 8. 切れ・こすれ	☐ 18. 交通事故(その他)
☐ 9. 電気 すべて	☐ 9. 踏み抜き	☐ 19. 動作の反動・無理な動作
☐ 10. はしご・階段・通路 すべて	☐ 10. おぼれ	☐ 20. その他
☐ 11. その他 すべて		

D.フリーキーワード： ☐or/☐and

E.年齢：

F.経験： (注意：1989年以前のデータには利用できません。)

G.負傷の程度：☐ 不休業*、☐ 休業*、☐ 死亡 (複数チェック可能) (*：1998年以前のデータには利用できません。)

H.発生年月：(西暦4桁) 年 月～年 月 (半角数字で入力してください。)

検索実行 **検索条件クリア**

[HOME](#) | [会員専用ページ](#) | [災害事例集メニューへ](#) | [労働災害統計へ](#)

7. 第102回 管理監督者体験交流会

2022年6月24日(金)

10:30~16:30

MSteamsリモート開催

参加134名

(21社 36事業所)



4つのテーマ

「安全巡回活動の見直しについて」

「どこまでも無災害！」

12号プレスライン 安全への取り組み
～他社災害の自職場ごと化～

「怪我を「しない・させない」物流の安全活動」

「設備の本質安全化と安全人間作り活動」



- 体験発表 4事業所
- グループ別討論
4テーマ9グループ
- 講演 東京工業大学
特任教授 中村昌允 先生

「安全管理の基本とヒューマンエラーの防止」



8. 第1回 危険体感安全教育情報交換会

2022年4月13日(水)

14:00~16:00

MSteamsリモート開催

参加101名

(15社 32事業所)

テーマ

「はさまれ・巻き込まれ」

危険体感教育設備導入済の
4事業所から動画を用いて
事例発表



終了後 質疑応答・情報交換



9. 安全表彰

令和3年度労働安全優良事業場を表彰

ハイブリッド(初)

- ・ 特別優良賞 20社20事業場
- ・ 優良賞 7社7事業場

表彰式：2022年5月24日(火) 於)東京プリンスH 当協会定時総会終了後



10. 新型コロナウイルス対策の取組み状況

※ 追記事項

各安全委員会を通じて情報共有

(共通) マスク・シールド着用、手指アルコール消毒、検温、会議の人数制限・リモート化、出張制限 など

(会員各社の事例)

更衣室の使用制限・作業服通勤許可、喫煙室閉鎖・人数制限、社員食堂の人数制限・時差利用・座席の間引、事務所・休憩所・社員食堂のテーブル・座席にパーテーション、手洗い講習・テスト、足踏式消毒液、**会議室にCO2計**、社用車の換気励行（最大風速）、作業者間距離十分確保の場合マスク免除（暑熱対策）、**出張前日までに(医療用)抗原検査**

(懸念・注意の事例)

作業者がマスクをしていると、表情や声がわかりにくいので、安全確認に注意が必要。

(協会行事関係)

体験交流会・**情報交換会**をリモート開催、**安全表彰式をハイブリッド開催**